

# 「復帰」54年 5・15 沖縄闘争

米日の中国侵略戦争阻止！沖縄を戦場にするな

日米安保＝戦争同盟粉碎！トランプ・高市倒そう



昨年5月19日400人の座り込みで  
資材搬入を止めた辺野古ゲート前

イラン侵略弾劾！

## 5月16日(土)

### 「復帰」54年5・15 沖縄集会

18:30 開始

(18:00 開場)

沖縄船員会館

2F ホール

(那覇市前島3-25-50)



### 国際通りデモ 16:00 県庁前集合

主催 改憲・戦争阻止！大行進 沖縄

ブログ

メール daikoushin.okinawa@gmail.com

TEL 080-7227-3789(鈴木)



## 5月17日(日)

### 嘉手納基地抗議デモ

12:30 沖縄市・胡屋十字路

### 勝連分屯地抗議闘争

15:00 陸自勝連分屯地正門前

## 5月18日(月)

### 辺野古現地闘争

8:30 辺野古ゲート前

### 那覇駐屯地抗議闘争

12:30 陸自那覇駐屯地正門前

# 日米安保粉砕・全基地撤去の大闘争を

## ■沖縄こそ中国侵略戦争をめぐる最大の激突点

1972年の「本土復帰」から54年の「5・15沖縄闘争」は、米日帝国主義による中国侵略戦争・世界戦争を許すのか、戦争の元凶＝帝国主義を倒し労働者人民の未来を切り開くのかをかけた歴史的決戦です。

アメリカ帝国主義（米帝）は1月3日のベネズエラ侵攻に続き、2月28日にイスラエルとともにイラン最高指導者殺害＝「斬首作戦」を皮切りとする残虐なイラン侵略戦争を開始しました。これは米帝の中国侵略戦争・世界戦争の大エスカレーションです。

米帝は、昨年12月の国家安全保障戦略（NSS）で、西半球から中国を叩き出し制圧し、「台湾強奪のいかなる試みも阻止する」として、中国の眼前の「第1列島線」（九州・沖縄～台湾～フィリピン）に圧倒的軍事力を構築すると宣言しました。この中心に位置する沖縄は、中国侵略戦争をめぐる最大の激突点です。再びの「沖縄戦の地獄」を阻止しよう。

沖縄から出港した米軍イージス艦がイランへの爆撃を強行しています。2～3月の日米共同訓練「アイアン・フィスト26」で殺戮訓練を行った在沖海兵隊の第31海兵遠征部隊も派遣されました。沖縄が虐殺の出撃基地になっています。絶対に許せません。闘うイラン人民、中国・アジア人民と連帯し、帝国主義を打倒してこの侵略戦争を止めよう。

## ■基地と戦争を打ち砕く実力闘争を

国家権力の総力をあげた新基地建設を30年近く阻み続けている辺野古の闘いは、実力で戦争を阻止する展望を示しています。昨年11月の大浦湾への本格的な土砂投入に怒りを爆発させ、工事資材搬入を阻止した昨年5月を上回る大結集で座り込み闘争を貫徹しよう。「平和学習船」の転覆・死亡事故を契機に、辺野古の運動をつぶす悪辣な攻撃が吹き荒れています。民意を踏みにじり続け普天間基地の返還すら事実上反故にして破綻的工



事を強行している権力・防衛局に一切の責任があります。実力闘争の貫徹こそが、一切の反動を打ち砕きます。

中国侵略戦争の急加速と日米安保＝戦争同盟の強化は、沖縄を軍事要塞化し、戦場にたたき込んでいます。米軍・自衛隊の基地の臨戦態勢化、全面的強化・拡大・ミサイル基地化、実戦演習の激化と空港・港湾・道路など全土の軍事使用、米兵による相次ぐ女性暴行事件をはじめ事件・事故の激発に直面する沖縄の怒りは沸点に達しています。戦争も日米安保も、沖縄の基地なしには成り立たない。だからこそ、日本帝国主義（日帝）高市政権は、不屈の反基地闘争への敵意をむき出しにして、どんなに沖縄を犠牲にしても基地強化を強行しています。それを打ち破ることは、日米の帝国主義を打倒する力を持っています。今こそ「米日の中国侵略戦争阻止、全基地撤去、日米安保粉砕・日帝打倒」の闘いを沖縄＝本土を貫く闘いとして爆発させよう。

## ■5・15 沖縄闘争でトランプ・高市を打倒しよう

高市は3月19日の日米首脳会談で、今まさにイラン侵略戦をやっているトランプを天まで持ち上げ、日本の参戦（自衛隊派兵）の道も開こうとしています。そして中国侵略戦争を率先して推進しようとしています。高市こそトランプと並ぶ戦争放火者です。

「5・15」は、日米帝国主義が沖縄労働者人民の思いを徹底的に踏みにじり、基地の固定化と全面自由使用、「有事の核持ち込み」（核密約）を強制した「ペテン的返還」の日です。「基地の島」の現実＝5・15体制を打ち破り中国侵略戦争・世界戦争を阻止しよう。5・15沖縄闘争の爆発で、トランプ・高市を倒そう！



米軍キャンプ・ハンセン前で「アイアン・フィスト26」抗議行動（2月14日、改憲・戦争阻止！大行進沖縄）